



MIYAGI CHILDREN'S HOSPITAL

宮城県立こども病院

広報紙

<http://www.miyagi-children.or.jp/>



発行：地方独立行政法人 宮城県立こども病院 〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17 TEL:022-391-5111 FAX:022-391-5118

## 病児の遊びを支える

院長 林 富



先日届いた認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」の機関誌「がんばれ」149号は、「病児の遊びを支える人たち」の特集でした。

同ネットワークは、病気や障害のある子の家族を対象とした相談事業や、家族同士の交流の場を提供するサマーキャンプ事業、親の会活動を支援する事業、ボランティアの養成ならびに活動支援事業など、実に多角的に病児の支援事業を展開しています。

それらの活動の一つとして、病気のこどもに「遊び」を提供するボランティアである「プレイリーダー」の養成を行い、その活動を支援しています。

療養施設における病児の「遊び」の支援にはその他に、保育士、チャイルドライフスペシャリスト（CLS）、ホスピタルプレイスペシャリスト（HPS）、子ども療養支援士（Child Care Staff, CCS）など様々な職種の方々が携わっています。

この特集の中で私が学んだことですが、「遊び」はこどもの心の栄養であり、権利であり、健全な心身の発達に必須のものです。療養生活の中では制限はあるものの、「遊び」は最大限に維持され尊重されなければなりません。そして重要なことは、「遊び」そのものに治癒力があるということです。したがって療養生活の中にあってもこどもの「遊び」を守ることが私たち大人の大事な役割です。

当院には、療養生活を多面的に支援する「成育支援局」があり、ボランティアグループ、療養環境支援グループ、医療福祉支援グループの三グループから構成されています。このうち療養環境支援グループには保育士、CLS、CCSが所属し、それぞれが多職種と連携しながらこどもと、そのきょうだいを含めた家族の療養生活を支援しています。

「遊び」の支援はその一部ですが、大部分でもあります。「こどもたちの遊びたい！を支えたい」これが私たちの願いです。

### 病院理念

- こどもの権利を尊重し、こどもが主役となるこころの通った医療をおこないます。
- 高度な専門知識と技術にささえられた、良質で安全な医療をおこないます。

### 病院の基本方針

- ①チーム医療、成育医療を実践し、良質であたたかい医療をおこないます。
- ②高度で安全、かつ先進的な医療をおこないます。
- ③こどものぞまじしい成長をささえる療養環境を提供します。
- ④こどもやご家族と診療内容の情報を共有し、情報公開にもつとめます。
- ⑤効率的な運営を図り健全経営につとめます。
- ⑥自己評価につとめ、外部評価を尊重します。
- ⑦職員の就労環境を整備します。
- ⑧地域医療機関と連携し小児医療レベルの向上に貢献します。

## Contents

|                                          |   |
|------------------------------------------|---|
| 部門紹介 .....                               | 2 |
| 認定看護師の活動紹介 .....                         | 3 |
| ボランティア紹介 .....                           | 3 |
| 登録医の先生のご紹介 .....                         | 4 |
| 登録医療機関・登録医の先生方へ<br>(第7回「七夕の集い」のお知らせ) ... | 4 |
| 新病院棟建築工事進捗状況 .....                       | 5 |
| 院内サークル紹介 .....                           | 6 |
| 行事予定 .....                               | 6 |
| 編集後記 .....                               | 6 |



日本医療機能評価機構  
認定第JC1934号

当院は日本医療機能評価機構の認定病院です。

# 部門紹介



## 臨床病理科

(科長 武山 淳二)



中央 武山 淳二 臨床病理科科長  
右 高崎 主任臨床検査技師 左 田中 臨床検査技師

当科では病理専門医1名と、臨床検査技師2名で業務を行っており、具体的には病理組織診、細胞診、術中迅速診断、病理解剖の4つを行っています。また細胞診に関しては細胞検査師と細胞診専門医のダブルチェック体制で診断しています。いずれもこども病院だからということで他の病院と比べて特に変わったことをしているわけではありませんが、各科の要望や時間外の検査にも可能な限り対応し、「この病院に常勤の病理医がいてよかった」と思っただけのように頑張っております。

当院では病理医が直接患者さんと接することはほとんどありませんが、患者さんの病気に診断をつけるということで、患者さんに与える影響は非常に大きなものがあります。そういったことを常に自覚し、責任をもって診断することをこれからも心がけていきたいと思っています。

今後ともよろしくお願いいたします。

## 言語聴覚療法

(発達支援部次長 言語聴覚士(ST) 佐藤 直子)



左より佐藤 言語聴覚士、大塚 言語聴覚士

言語聴覚士は、音声言語を含めたコミュニケーション、聞こえ、食べ方が心配なこどもさんを対象として、こどもさんの発達を促すと共に、毎日こどもさんに接している保護者の方が、元気に自信をもって子育てができるように具体的に支援していくことを心がけています。こどもさんも大人も笑顔で日々が過ぎるように日夜、知恵をしぼっております。主にリハビリテーション科や神経科、形成外科からオーダーをいただいておりますが、非常勤の先生方がつとめる耳鼻科や摂食外来にもメディカルとして携わっております。

2015年度には、庭に面していた日当たり良好の1階のリハビリテーション室から新館の2階にお引っ越しをして、今度は見晴らしがよくなります。もう少し経つと拓桃医療療育センターで活躍していた言語聴覚士と一緒に、スタッフ数も増えます。

今後、更なるサービスの向上をはかるべく研鑽努力につとめる所存ですので、どうぞ宜しくお願いいたします。



# 認定看護師の活動紹介

ICU看護師 皮膚・排泄ケア認定看護師 村山 佳菜



村山 佳菜 看護師

皮膚は、人間の臓器の中で最大の臓器と呼ばれていることを知っていますか？

なぜそうに言われているかというと、皮膚は細菌の繁殖を抑える・紫外線から身を守る・汗をかき体温調整など様々な働きをしているからです。

皮膚・排泄ケア認定看護師の仕事は、正常な皮膚の働きが損なわれないようするために予防的にスキンケアを行ったり（保湿や体の洗い方、皮膚障害が起こりそうな部分へのケアなど）、傷や褥瘡・おむつかぶれなど皮膚トラブルが起きた際には、早期に治療できるようにケアを行うこと、また人工肛門や失禁などのケアも行っています。

小児期のスキンケア・人工肛門のケア・失禁ケアは、家族の方々の協力が欠かせません。患者さんだけではなく、ケアを一緒

に行う家族の方々も安心して行えるように、また不安や負担が軽減できるように家族の生活状況に応じたケア方法について相談しながら工夫していきます。

何かありましたら、いつでもお声がけください。

## ボランティア紹介

### 10の物語

（イベント・アート 伊藤 真弓）



「ここに何か飾りをつけられないかしら？」

とボランティアコーディネーターの太田さんからお話を頂いたのが、初夏のことでした。

私達イベント・アートのグループは、お誕生日カードや行事食カードの製作を主に担当していますが、今回は楽天イーグルスの斉藤隆投手から寄贈された、10台の荷物運び用カートに、飾りをつけるお仕事の依頼でした。楽しくて思わず笑顔になってしまうようなものがどうしたらできるのか、みんな



で相談を重ねた結果、童話や昔話の中から、10個の物語を選んで作ってみようということになりました。森の木々や季節の花々、動物達など、色画用紙を切り、重ね貼りして作っていました。私は、主人公たちのキャラクターデザインを担当しましたが、かぐや姫やアリス、桃太郎などの衣装や表情に思いを巡らせて作っていく作業は、ワクワク感が一杯で、とても楽しいものでした。病院の玄関で出番を待っているカートを見るたびに、使ってくださる患者さんやご家族が、ほんの一瞬でも微笑んでくださればいいな、と思う今日この頃です。

# 地域医療連携室だより

## 登録医の先生のご紹介

### おおぬま小児科（柴田郡柴田町）

院長 大沼 健児 先生

〒989-1753 宮城県柴田郡柴田町槻木上町1-1-51  
TEL 0224-87-7561 FAX 0224-87-7565  
<http://ohnuma-shounika.jp/>



柴田町槻木（つきのき）にある小児科無床診療所です。2012年9月に開院いたしました。柴田町は仙台市と白石市の中間にあります。観光名所は柴田町から大河原町に連なる「一目千本桜」です。桜が咲く時期には大変な人出です。また山本周五郎の小説「縦の木は残った」の主人公である原田甲斐の居城であった船岡城跡が、船岡城址公園として整備され柴田町にあります。

当院ではこども特有のよくある病気（common disease）を確実に診断し治療することを心がけています。売りは一般待合室と予防接種待合室を分けていることです。朝から夕方まで、都合の良い時間に予防接種ができます。一般診察室と予防接種診察室は離れているため、混んでいる時は小走りに2つの診察室を行ったり来たりしており、私自身の運動不足解消にもなっています。



前列中央 院長 大沼 健児 先生とスタッフの皆さん

こども病院の先生方には大変お世話になっております。私は国立仙台病院（現仙台医療センター）、東北大学病院、仙台市立病院、岩手県立中央病院、日立製作所日立総合病院、みやぎ県南中核病院に勤務させていただきました。当時お世話になった小児科・他科・研修医の先生方が数多くこども病院にはいらっしゃるの、勝手に親近感を抱いています。開業してからは難治性の慢性便秘やヘリコバクターピロリ感染症などで虻川先生にお世話になり、大変助かりました。いつも丁寧なお返事をいただき本当にありがとうございます。こども病院の先生方やスタッフの激務をよく伝え聞いております。もっと人員が増やされ、職員の皆様のご負担が軽減されることを心から願っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

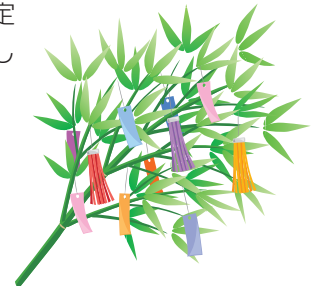
## 登録医療機関・登録医の先生方へ（第7回「七夕の集い」のお知らせ）

本年も、研修会と交流会を兼ねた第7回「七夕の集い」を下記の日程で開催予定です。詳細につきましては、後日登録医や関係医療機関の先生方にご案内を差し上げたいと存じます。是非ご参加を賜りますようお願いいたします。

### 宮城県立こども病院第7回「七夕の集い」

開催日時 平成27年7月8日（水）19：00～21：00

場 所 江陽グランドホテル



宮城県立こども病院 地域医療連携室

〒989-3126 仙台市青葉区落合四丁目3-17  
TEL:022-391-5115（直通） FAX:022-391-5120（直通）  
開室時間／月～金曜日の8:30～17:15（祝日、年末年始は除く）



# 新病院棟建築工事進捗状況

## — 拓桃医療療育センター・拓桃支援学校整備事業 —

宮城県立こども病院北東側の隣接地に移転のため工事中の宮城県拓桃医療療育センター・支援学校は、宮城県立こども病院と統合後に平成27年度後半にオープンの予定です。統合後の病院名は、宮城県立こども病院で変更はなく、現在の病院棟は「本館」、新病院棟は「拓桃館」となります。



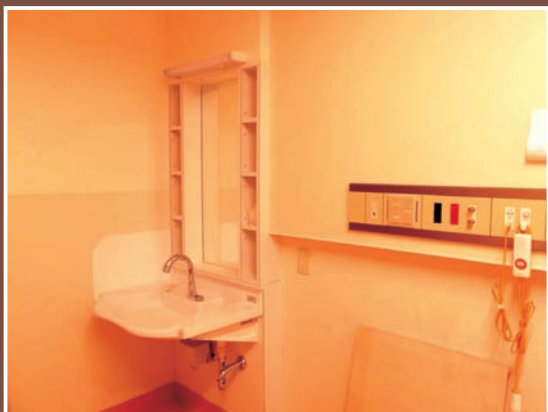
2014年11月17日  
「拓桃館」3階部分がほぼ完成したようです。



2014年12月26日  
「拓桃館」4階部分が半分ほど完成したようです。

### 「拓桃館」病棟モデルルームのご紹介

現宮城県拓桃医療療育センターに作成された、「拓桃館」の病棟のモデルルーム写真を提供いただきました。平成27年度後半の完成オープンが待たれます。



# 宮城県立こども病院 院内サークル紹介

## 雀 珠

(4階病棟 看護師 山田 麻衣子)

私たち雀珠(すずだま)は平成22年に発足し、活動5年目を迎えます。看護師を中心に、医師、薬剤師など多職種で構成され、踊り手とお囃子を合わせ、現在約30名の職員が所属し活動しています。仙台発祥の郷土芸能である雀踊りの



サークルで、仙台青葉まつりをはじめとし院内の夏まつりや新年会、学会の余興など様々なイベントに参加しています。サークル名である「雀珠」には、雀踊りを通して人と人との輪をつ



ながていくという願いが込められています。また、私たち雀珠が着用する鮮やかな法被や幟には母と子が寄り添う絵がイラストされており、こども病院のファミリーホスピタルをイメージしたデザインとなっています。毎年5月に開催される青葉まつり参加を目標に、勤務終了後の限られた時間の中で練習を重ねています。結成2年目からはオリジナルの振り付けも加え、お囃子も太鼓を増やすなど年々迫力のある演奏に仕上がっています。私たち雀珠はサークル活動を通して、今後多職種間での交流を深め、入院中のこどもや家族、またイベントに参加した方々の笑顔の輪をつないでいけるよう、活動していきます。

## 行事予定

- 3月11日 第43回クリニックラウン訪問
- 3月19日 第117回まほうの広場コンサート
- 3月24日 スマイル・ホスピタル・ジャパン宮城
- 3月31日 第118回まほうの広場コンサート
- 4月17日 ラフターヨガ
- 4月27日 スマイル・ホスピタル・ジャパン宮城
- 4月28日 スマイル・ホスピタル・ジャパン宮城
- 4月28日 第119回まほうの広場コンサート
- 5月13日 第44回クリニックラウン訪問
- 6月10日 第45回クリニックラウン訪問
- 6月18日 まほうの広場コンサート
- 7月31日 夏祭り



## 編集後記

今年に入ってシベリアからの大寒波が何度も押し寄せ、とても寒い日が続いています。でも暦の上ではもう春です！早く暖かくなつてほしいと願うばかりです。

今年度より「いのちの輝き」のデザインが変わったことをお気づきでしたでしょうか？それぞれ委員がデザインやカラーなどにこだわり、話し合いながら決めていきました。私は、そのプロセスを通して、部署を超えた活動ができることを楽しんでおります。

これからも、「いのちの輝き」は宮城県立こども病院の活動をわかりやすく、また楽しく伝えていきたいと思っています。ぜひ、みなさまから広報委員会活動へのご意見・ご提案、取り上げてほしい話題などありましたらお知らせください。発行にあたりご多忙中にも関わらず原稿をお寄せいただきご協力くださいましたみなさまへ感謝いたします。

(看護管理室 師長 横内 由樹)

## 地方独立行政法人 宮城県立こども病院

〒989-3126  
宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17  
TEL:022-391-5111 FAX:022-391-5118  
<http://www.miyagi-children.or.jp/>

## 広報委員会

委員長 田中 高志  
広報委員 虻川 大樹 天江新太郎 今泉 益栄 岩崎かおり  
北村 倫子 櫻井奈津子 佐々木正臣 佐藤 芳則  
高崎 健司 沼倉 智行 日野 洋明 真嶋 智彦  
松谷ひとみ 横内 由樹 吉田さやか 渡邊 勝

